

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名 地域高規格道路 一般国道7号 万代橋下流橋 <small>ほんだいはしかりゆうきょう</small>	事業区分	一般国道 国土交通省 北陸地方整備局
起終点 自：新潟県新潟市中央区西堀前通十番町 <small>にいがた ちゅうおう にしほりまえどおりじゅうばんちょう</small> 至：新潟県新潟市中央区万代島 <small>にいがた ちゅうおう ほんだいま</small>	延長	1.5km
事業概要 一般国道7号万代橋下流橋は、地域高規格道路「新潟南北道路」の一部を形成し、新潟市中心部と周辺地区間を南北に結ぶ主要幹線道路としての役割を担う延長1.5kmの4車線道路である。		
H5年度事業化 H4年度都市計画決定 H7年度用地着手 H10年度工事着手		
全体事業費 570億円 事業進捗率 86% 供用済延長 0.8km		
計画交通量 24,600～49,600台/日		
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 2.0 (残事業) 4.8	総費用：(残事業)/ (事業全体) 64/ 654億円 (事業費：62/ 647億円 維持管理費：3.0/ 6.4億円)
総便益：(残事業)/ (事業全体) 307/ 1,322億円 (走行時間短縮便益：265/ 1,142億円 走行経費減少便益：26/ 116億円 交通事故減少便益：16/ 64億円)		基準年： H19年
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=4.3～5.2（交通量±10%） 事業期間変動：B/C=4.6～4.9（事業期間±20%） 事業費変動：B/C=4.3～5.3（事業費±10%） 割引率変動：B/C=4.0～5.8（割引率±1%）		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道等の混雑時旅行速度の改善が期待される） ・都市の再生（市街地等へのアクセス性改善により、活性化に寄与することが期待される。）		
関係する地方公共団体等の意見 万代橋下流橋は、新潟市中心部への円滑な交通処理、中心市街地の活性化など、主要幹線道路としての重要な役割を果たすことが期待されており、新潟市より早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 前回の再評価後、市街地再開発事業として、国際会議場を備えた複合施設（朱鷺メッセ）や新潟市歴史博物館といった集客施設が立地し、これら施設関連の利用交通を円滑に処理することが必要である。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成14年度に橋梁部となる柳都大橋区間（L=0.8km）を部分供用している。残事業のうち、東堀通～柳都大橋区間（L=0.5km）については平成19年度の部分供用を目標に改良・舗装工事を、西堀通～東堀通区間（L=0.2km）については、用地買収を推進している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 整備効果の早期発現のため、東堀通～柳都大橋区間（L=0.5km）を平成19年度に部分供用し、その後引き続き延伸整備を進め平成20年代前半の完成4車線化を目指している。		
施設の構造や工法の変更等 施工にあたっては、柳都大橋基礎ケーソンの無人化施工により約0.2億円を縮減したほか、新技術、プレキャスト製品の積極的活用、再生材の活用等のコスト縮減を考慮した計画となっており、今後一層の建設コスト縮減に努める。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 事業の効果並びに事業の実施状況を踏まえ、事業の継続が妥当である。		
事業概要図		
		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。